

第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

1 公共交通事業者支援事業 予算 1,190 千円

南信州の公共交通に従事する事業者（以下、公共交通事業者という。）においては、コロナウィルスの影響による収入減・高齢・賃金格差等でバス・タクシードライバーの離職は増加する一方、その穴を埋めるだけの新規採用ができていない状況下にある。

また、2024年の働き方改革により、自動車運転業務の上限が制限されることにより、既存の人の割り当てでは現行路線が維持できないケースが発生することが公共交通事業者側からも指摘されている。

これらのことは、南信州公共交通システムの現行の路線維持に大きい影響を与えることから、事業者の運転手確保活動を支援或いは負担軽減する対策を進める。

(1) 二種免許（普通・大型）取得支援（公共交通事業者への補助事業） 予算 1,000 千円

現在、新規採用者の二種免許取得費用（一般的には25万前後～）を一部或いは全額を会社負担する形で雇用確保に臨んでいる事業者がほとんどであり、各協会からの補助※を除いた残る部分は事業者負担となっている。

※長野県バス協会では、1社に対し年間2名までを上限として、10万円/人の補助制度あり。長野県タクシー協会では、予算上限があり、超えた場合は申請人数に応じて按分したものが補助となる制度あり。

●南信州圏域に居住実態があることが確認できる新規採用者へ二種免許取得支援を講じている公共交通事業者（南信州圏域に本社を置く事業者を対象）向けの補助事業を実施

(2) 運転手確保に関する横断的な検討の推進（重点項目） 予算 190 千円

南信州の公共交通事業者とのヒアリングや協議の場を設け、運転手確保についての横断的な検討を進める。

例) どらナビ等の運転手募集サイトへの交通事業者らの共同広告打ち出しや説明会、移住定住支援と連携した運転手誘致の検討など

2 地域公共交通見直し支援事業 予算 2,457 千円

各市町村と委託を受けている公共交通事業者に対し、公共交通路線に関する長期的な見直しと双方間での検討状況について、事務局より改めてお伺いする。

その際に、市町村より路線見直しや協議について支援要請があった場合は、協議検討に必要な事前調査、データ作成又は有識者を招いての課題整理等を行う。必要に応じて、地活法等に基づく国庫補助やその他助成制度を活用する。

(1) 路線の見直し等事前検討支援 200 千円

専門家や有識者を招き、地域での課題検討・路線見直し検討等を支援する。必要に応じて、国庫補助等を活用した調査事業等の組み立てを行う。

(2) (先行取組) 南部地域公共交通調査事業 2,257 千円 (国庫補助 1/2)

昨年相談があった南部エリアにおける中高生・高齢者の移動ニーズ・実態を調査し、一定エリアごとの傾向、移動手段にかかる経費(代替案含む)、地域のリソース(運転手・車両等)の把握を行い、そのデータやシナリオ等をもとに検討協議できるよう整理する。

3 GTFS-JP の整備・活用 予算 600 千円

(1) GTFS-JP の整備

- ・昨年先送りとした数路線及び追加で整備要望があった路線の GTFS-JP データの整備を進める。
- ・GTFS-JP データの維持管理や Google マップ(経路検索)上での注釈表示方法等について、講習会等を実施する。

(2) GTFS-JP の活用

- ・バスロケやデジタルサイネージなどへの応用の検討を進める。
- ・既存のオープンデータとの組み合わせやGIS分析等の検討を進める。

(3) GTFS-JP の周知

- ・データ整備の成果物のひとつである Google 経路が可能となったことについて、各市町村の住民や中高生に向けて、チラシやポスター等で発信する。
- ・他オープンデータサイトへのデータ提供を進めていくことで、Navitime や駅すぱーと等の諸検索サービスに南信州の公共交通情報が掲載されるよう進めていく。

4 公共交通に親しむイベントの開催 63 千円

公共交通の取組みを住民に周知し、公共交通利用への回帰を促す取組みを行う。

令和5年度は、南信州環境メッセ2023に出展し、公共交通の周知と乗り方教室を兼ねた取組を進める。

5 利用者層及び利用者数の拡大

(1) 南信州広報誌等による啓発活動

(2) バスの乗り方教室の実施

対象者毎(中学生、高齢者等)に乗り方教室を開催し、新たな利用につなげる。

(3) JR 飯田線の利用促進

JR 飯田線を最大限活用できるよう、いただいた JR 飯田線の時刻データをもとに時刻表を作成し、各市町村や広報媒体と共有し、JR 飯田線との接続や周知を推進する。

6 公共交通ポータルサイト等による情報発信 予算 300 千円

圏域の公共交通に関する情報を利用者にとって分かりやすい交通情報を提供し、来訪者を含めた利用者の利便性向上につなげる。また、災害時の円滑な情報発信についても検討を進める。

(1) 「南信州公共交通インフォメーション（南信州の公共交通ポータルサイト）」

来訪者を含めた利用者の利便性向上につながるバス・乗合タクシー・JR 飯田線の情報発信及びサイトの管理運営を行う。

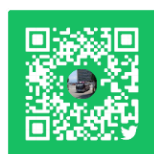
また、ホームページについては、提供できる情報の見直しを行い、適宜改装する。



URL <http://kk.minami.nagano.jp/>

(2) 公式 Twitter 「南信州おでかけインフォ（旧南信州地域交通問題協議会）」

バス・飯田線の運休・遅延等の情報に加え、おでかけにつながる観光情報の発信を行う。



Twitter で「南信州おでかけインフォ」

7 南信州公共交通システム維持管理事業 100 千円

南信州公共交通システムの表示等の状況把握に努め、その維持管理を実施する。

具体的には、バス車体に張り付ける路線マグネットや結節点停留所の時刻ボードの一部張替等を、各所へ照会をかけた後まとめて発注・依頼することでコストを若干抑えられる形で実施する。

8 各種検討推進事業 200 千円

南信州地域公共交通計画上で取り上げていないものも含め、今後南信州地域で検討が必要となる事柄について関係各者が学べる場・検討する場を整備する。下記項目をはじめ、関係各者と協議の上、実施する。

- (1) 南信州における地域 MaaS について
- (2) キャッシュレス決済について（長野県が実施する検討と合わせながら進める）
- (3) 貨客混載等について（公共交通事業者から要望あり）
- (4) 観光業との連携について（観光タクシー他）
- (5) リニア駅開業に向けた交通網の見直しや要点の整理 など

令和5年度 南信州地域交通問題協議会 当初予算（案）

（収入）

（単位：円）

科目	R5予算	R4予算	比較増減	備考
負担金	2,955,000	1,517,000	1,438,000	南信州広域連合負担金 2,455千円 南部地域交通調査負担金 500千円
繰越金	1,222,741	1,182,921	39,820	R4年度繰越金
国庫補助金	70,453,000	0	70,453,000	○R4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金実績と同額分 69,325,000円 ○南部地域交通調査事業 1,128,000円（内示あり）
借入金	0	0	0	
諸収入	16	79	△ 63	R4実績と同じ（決算利息年2回分）
計	74,630,757	2,700,000	71,930,757	

（支出）

（単位：円）

科目	R5予算	R4予算	比較増減	備考
運営費	297,000	297,000	0	
報償費	198,000	198,000	0	講師・委員等報償費（総会1回、幹事会2回）
旅費	99,000	99,000	0	講師・委員等旅費（総会1回、幹事会2回）
需用費	48,757	50,000	△ 1,243	
消耗品費	48,757	50,000	△ 1,243	事務等消耗品
役務費	50,000	40,000	10,000	
通信運搬費	40,000	30,000	10,000	通信運搬費、振込手数料
使用料	10,000	10,000	0	出張時駐車場使用料等
交付金	69,325,000	0	69,325,000	○R4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金実績と同額分 69,325,000円
事業費	4,910,000	2,313,000	2,597,000	○公共交通事業者支援事業 1,190千円 ○地域公共交通見直し支援事業 2,457千円 ○GTFS-JPの整備・活用・周知 600千円 ○公共交通に親しむイベントの開催 63千円 ○公共交通ポータルサイト等による情報発信 300千円 ○南信州公共交通システム維持管理事業 100千円 ○各種検討推進事業 200千円
計	74,630,757	2,700,000	71,930,757	

予算の執行上必要があるときは、科目間の流用ができるものとする。